



新みやしろ郷土かるた大会を開催しました

令和5年7月2日(日)、進修館大ホールにて「新みやしろ郷土かるた大会」を開催しました。本大会は、新型コロナウイルス感染症の影響から過去3年間中止が続いていたため、4年ぶりの開催となりました。当初は、大会への参加者が集まるのかどうか不安がありましたが、町内の小学1年生から6年生までの42チーム(126人)による熱戦が繰り広げられました。

日頃の練習成果を発揮し実力を出し切ることが出来たチームや思うように札を取ることが出来ずに、悔しさを隠しきれなかったチームなど、歓声とため息が入り混じる中、適度な緊張感と高揚感が会場を包み込んでいました。

また、ミスをしたチームメイトを抱きしめ励ます子や怪我をしたチームメイトを気遣う子など、仲間を思いやる心と行動が随所で垣間見え、心温まる大会ともなりました。 問合せ 生涯学習・スポーツ振興担当 内線433



須賀小学校地域拠点施設整備に関する取組について

基本構想を策定しました

町では、令和4年度から20年間の期間をかけて小中学校の適正配置を進めています。

その第1歩として、須賀小学校の再整備に取り組んでいます。

令和4年度には、須賀小学校地域拠点施設検討委員会、町職員のプロジェクトチームを発足させました。

この度の須賀小学校地域拠点施設基本構想については、須賀小学校区域の皆様のアイデア等を反映させるために住民ワークショップや住民意識調査、先進地事例視察等を実施し、これらの結果を基に策定しました。

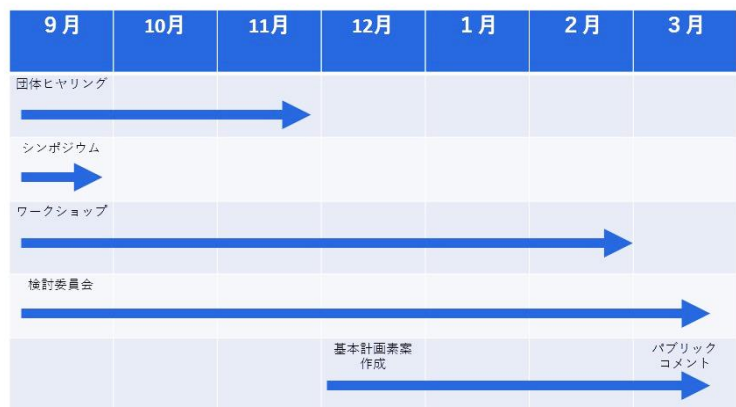
町では今後、策定した基本構想を基に基本計画の策定、基本設計・実施設計など須賀小学校の再整備を進めていきます。

新しい学校は令和9年度開設の予定です。

基本構想はこちらです→



令和5年度スケジュール



令和5年度の取組について

令和5年度は、須賀小学校地域拠点施設基本計画の策定をします。

スケジュールについては、上記の表のとおりです。

基本計画の策定にあたっては、有識者シンポジウムやワークショップ、団体ヒヤリングなどを実施し、保護者や児童、学校関係者をはじめ、地域の皆様のアイデア等を聴く機会を設けた上で進めていきます。

須賀小学校の再整備の取組についての詳細は、引き続き広報・町ホームページ等でお知らせいたします。

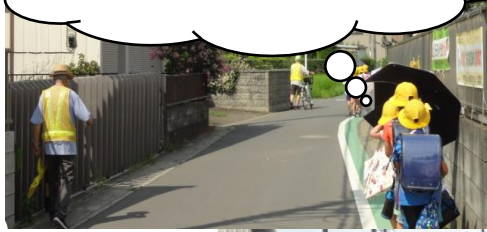
地域のみなさまの見守りで安心安全な登下校

須賀小学校



スクールガード・リーダー
遠藤 さん

グリーンベルトを一人で歩き、安全に気を付けて帰ります。



いつもお家の近くまで一緒に歩いてくれて、うれしいです。



百間小学校



スクールガード・リーダー
金子 さん

これからも、横断歩道や踏切を渡る前に、左右を確認して渡るようにします。



家が近い友達と並んで、安全に帰ります。



宮代町では、多くのみなさまに子供たちの安全を見守っていただいています。今回は、主に登下校の安全を見守っていただいているボランティアのみなさまの活動の様子をご紹介します。

各小学校や地区で規模や形態等は異なりますが、小学校ごとに県から委嘱されたスクールガード・リーダーの方々をはじめ、スクールガードの方々、交通指導員の方々、こども110番の家の方々など、たくさん地域のみなさまに御協力をいただいています。



いつも子供たちの安全を見守ってくださりありがとうございます。

新たに、登下校の見守りボランティアやこども110番の家に御協力いただける方は、お近くの小学校へお問い合わせください。

東小学校



スクールガード・リーダー
坂田 さん

通学時は校門に入るまで一列で歩きます。



暑いので水分をとるように声をかけてくれて、ありがとうございます。



笠原小学校



スクールガード・リーダー
長谷川 さん

みんなで仲良く並んで帰ります。



1年生だけの下校班でも、一列に並んで、左右を確認しながら帰ることができるようになりました。



【郷土資料館からのお知らせ】

～設置完了～

文化財案内板「No.108島村先生誨誘之碑」

今回、文化財案内板の設置を行った、宮代町字中にある「島村先生誨誘之碑」は、高さ353cm、横幅153cmのとても大きな石碑です。「誨誘(かいゆう)」は「教え導く」という意味で、島村先生の功績を称えた碑になります。「島村先生」とは島村繁のことで、彼は宮代町の偉人・島村盛助の父にあたります。碑は、繁の功績を伝えたいという弟子たちの希望により、盛助が設置の計画を行いました。

繁は剣道の流派の一つである、直心影流の免許皆伝となり、明治27年(1894)には、自宅の敷地内に剣道場「遵養館(じゅんようかん)」を設け、500人を超える子弟を育成しました。碑の裏側には、340人を超える人名が記され、「島村先生」が多くの人名に慕われていた様子がうかがえます。



◀「島村先生誨誘之碑」と文化財案内板

～開催予定～

令和5年度
特別展

古代のみやしろ

令和5年10月28日(土)から12月24日(日)の期間、宮代町郷土資料館にて特別展「古代のみやしろ」を開催します。

古墳時代のみやしろを代表する、道仏遺跡から出土した格子模様が特徴の韓式系軟質土器(かんしきけいなんしつどき)や、姫宮神社遺跡から出土した埴輪などの特徴的な遺物に焦点をあて、周辺地域とのつながりを考える展示を行います。町外・県外からお借りした貴重な資料もあわせて展示しますので、お楽しみに。

日時:10月28日(土)から12月24日(日)まで
9時30分～16時30分

[休館日]月曜日(月曜が祝日の場合はその翌日)・祝日直後の平日

会場:宮代町郷土資料館1階特別展示室



◀令和3年度道仏遺跡発掘調査で出土した韓式系軟質土器

「夏休み体験学習講座」「土器づくり教室」が開催されました

「夏休み体験学習講座」と「土器づくり教室」は、小学1年生から中学3年生までが対象の体験型講座です。

今年の「夏休み体験学習講座」は、7月25日(火)と8月8日(火)に縄文ペンダントづくり、7月26日(水)と8月9日(水)にまがたまづくり、8月1日(火)と8月3日(木)に和とじノートづくり、8月2日(水)と8月4日(金)の組みひもブレスレットづくりの4講座、計8回の開催となりました。

また、7月23日(日)には土器づくり教室が行われ、粘土の塊から一生懸命に土器を作り上げ、縄文人の暮らしの一部を体験しました(8月末に土器焼きが行われました)。

全講座の参加者は、小学1年生から中学2年生の延べ76人で、多くの方々にご参加いただきました。

特に、土器づくり教室はコロナ禍で行われなかったため、実に4年ぶりの開催となりました。参加した子供たちからは「疲れたけど楽しかった」や「自分の思う形にできた」などの感想をいただきました。



講座の様子

問合せ:34-8882(郷土資料館直通)

教育だより みやしろ(第13号)
令和5年9月1日発行

発行:宮代町教育委員会
事務局:教育推進課教育総務担当(宮代町笠原1-4-1)

Tel:0480(34)1111 内線425・426

Fax:0480(34)4152

Mail:kyouiku@town.miyashiro.saitama.jp

※ご意見、ご感想をお寄せください。